



設置された計測震度計処理部(上)と計測部(下)

## 東京都の災害情報システム向けに計測震度計を納入

明星電気は東京都向けに計測震度計を受注、このたび納入が完了しました。東京都の島しょ部に8台の計測震度計を設置したほか、併せて気象庁が計測震度計を設置済みの市区町村に震度データ分岐処理装置5台を納入しました。これらの計測震度情報は、東京都防災センターの災害情報システム(DIS)に集められ、都内の市区町村に防災情報として提供されます。明星電気の防災機器は、地震災害から都民の安全・安心を守るために貢献しています。

(担当:防災事業部)



スプリングフィールド市民団



簡易分光器を作製する団員

## 国内外から相次いで工場見学

10月21日、群馬県伊勢崎市の国際姉妹都市である米国ミズーリ州スプリングフィールド市より、市長はじめ18名の市民団が当社を訪れ、クリーンルームや3次元レーザーダなどを中心に見学されました。見学後の質疑応答では、小型衛星、地震観測、天気予報サービスなどに話題が集まりました。

また10月28日、日本宇宙少年団の前橋・館林分団員と保護者など40名が工場見学に会社されました。当社の宇宙事業や「はやぶさ」との関わりなどを紹介し、製品展示コーナーやクリーンルーム、スペースチャンバなどを見学しました。また「分光って何？光のスペクトル」と題して当社技術者から講義を行ったあと、見学者全員で簡易分光器を作製し、太陽光や電球を通して光の性質の違いを確かめました。参加した子どもたちからは、「宇宙関係の現場や製品を実際に見て感激」「宇宙の仕事をしている会社が身近にあってうれしい」など感想が寄せられました。

今後も明星電気はCSRの取り組みを推進し、地域社会との交流を深めていきます。

(担当:経営企画室、グローバル営業グループ、宇宙防衛事業部)

## 建設技術フェア in 中部・ハイウェイテクノフェアに出展

10月20、21日に名古屋市中小企業振興会館で開催された建設技術フェア2016 in 中部にIHIグループ共同で出展しました。20回目を迎えた本展示会は、「現在(いま)を支え未来を創る先進建設技術」というコンセプトの基に開催され、当社はPOTEKAとQCASTを展示しました。建設業界での気象防災技術の活用を紹介し、多くの関係者から高い関心が寄せられました。

11月1、2日には東京ビッグサイトで開催されたハイウェイテクノフェアに初出展しました。こちらは、(公財)高速道路調査会が主催、NEXCO各社が共催し、高速道路の建設・管理技術に焦点をあてた展示会としては国内最大級のもので、当社からはAMECAや高速道路向けQCAST、計測震度計を出展、道路交通分野への取り組みをPRL、来場者からさまざまな質問や意見をいただきました。

(担当:防災事業部、気象・管制事業部)



建設技術フェア in 中部(上)とハイウェイテクノフェア(下)ブース

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し  
安全・安心な社会の発展に貢献していきます。